

新年のご挨拶



梶山 千里

(独立行政法人日本学生支援機構理事長)

明けましておめでとうございます。

旧年中は本機構の事業に対し、格別のご協力ご支援を賜り誠にありがとうございました。機構の創設六年目を迎え、決意を新たに諸事業に取り組んでまいりますので、本年もよろしく願っています。

本機構は、学生生活支援事業、奨学金貸与事業、留学生支援事業の三つを大きな柱とし、社会のグローバル化や学生の多様化に対応し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な優れた人材を育成することも、国際理解・交流の推進を図ることを目的として事業を実施しています。

本年は、四月より第二期中期目標計画に移行しますが、各事業の一層の重点化、効率化を図るとともに、さらに効果的に学生支援サービスを提供できるよう、組織を上げて取り組んでまいります。

高等教育のユニバーサル化が進み大学等の学生生活支援においては、学生の多様化に伴い、従来の教職員の仕事に所属しきれない専門的業務が増大しています。本機構では、学生生活支援の直接の担い手である大学等との密接な連携協力のもと、学生生活支援に関する研修、情報収集・提供及び調査研究事業の充実を図ってま

いります。

学生生活支援事業の中でまず、研修事業では、大学等の学生支援業務を担当する教職員に対し、学生支援に必要な知識等の習得やスキルアップを図るため各種研修会を実施しております。平成二〇年度は、学生指導、学生相談、就職指導、修学指導、留学生交流のカテゴリー別に十一種類の研修を実施いたしました。来年度は、障害学生修学支援に係る研修の新設他、学生生活支援に関する喫緊の重要課題に係る研修の実施など研修事業の見直し合理化を図る所存です。今後とも、大学等の教職員の皆様の研修会へのご参加をお願いいたします。

また、情報収集・提供事業においては、平成一八年六月より「学生支援情報データベース」を公開し、皆様にご活用いただいております。昨年は今後の情報収集・提供事業の企画・改善の参考にするためにアンケートを実施しましたが、本年は学生支援情報データベースを見直すとともに、引続き質の高い情報収集・提供に努めてまいります。

障害のある学生の修学支援については、障害者施策推進本部が決定した「重点施策実施五カ年計画」を踏まえ、「障害学生修学支援ネットワーク事業」を積極的に進めます。直面している課題に対応した調査研究の充実、支援担当者に対する全国的な研修会の開催、質の高い情報提供等により、障害のある学生の学びやすい環境作りを推進してまいりますと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本機構では文部科学省からの要請により、平成一九年度に引き続き、平成二〇年度についても文部科学省が実施する「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に係る審査・評価、公表等に関する業務を担当しましたが、今後も様々な形で大学等の皆様の学生支援の充実等に資するための業務に取り組みまいります。

奨学金貸与事業においては、意欲と能力のある学生等が自らの意思と責任により大学等で学ぶことができるようにという理念のもとで、この事業が多様な学生等のニーズに対応できるよう一層の充実を努めてまいります。また、奨学金の貸与を適格に実施することはもとより、教育施策の観点から奨学生の適格認定を通じて、修学上の指導を大学等の協力連携のもとに厳格に行ってまいります。

奨学金の返還については、返還金が次代の学生等の奨学金となる仕組みから、この事業を維持・発展させていく上で大変重要であります。返還金の確実な回収に向けて、一層効果的かつ効率的な回収方策を推進してまいります。また、大学等においては、奨学金貸与事業の重要性を改めて強く認識していただき、学生等に対する返還意識の徹底や返還促進に向けたご協力をよろしくお願いいたします。

留学生支援事業においては、「留学生三〇万人計画」の実現に向けて、留学情報の提供と、日本留学試験を活用した渡日前入学許可の拡大に努め、留学生への学資金の支給、受入れ・派遣の両面での交流を促進してまいります。

また、創刊三年目を迎えます帰国外国人留学生メールマガジンは、内容も益々充実し、読者数も確実に増えております。今後も更に効果的なフォローアップ事業を実施してまいります。

本誌をはじめとして、ホームページなど各種メディアを通じて、様々な学生生活支援に関する情報提供を行うことにより、きめ細かく学生生活支援活動をサポートしてまいります。

以上、年頭に当たり学生生活支援業務の課題と取組の概要を中心に申し上げます。

今後とも学生サービスを実施する大学等の皆様方との連携を図りつつ、大学等及び学生のニーズを的確に反映したサービスの提供を目指してまいります。旧来にも増してご協力をいただきましたたく重ねてお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。